

「いつかは…」を早めに実現するコツは？

夢のマイホームで ふたり暮らし

結婚式や新婚旅行など、なにかと物入りなふたりの門出。
とりあえず新居は手頃なアパートを借りて、

こつこつ貯金しながらいつかは夢のマイホーム…と
思い描くカップルが多いのでは。

ところが最近、住宅価格の下落や低金利が手伝って、

マイホームの一次取得者年齢がじわじわと下がっています。

こんな時勢だからこそ、若いうちにササッと

マイホームを手に入れておくのが賢い選択なのかも!?



1.翔さんのこだわりで床を落ち着いたダークブラウンに決め、インテリア全体の色調を統一。シンプルでモダンな雰囲気。2.22%以上という建ぺい率の関係で、屋内ガレージを設置。キッチンの勝手口とつながっていて、電動シャッター付きの便利なスペース。3.新婚らしいハイカウンター。食器やインテリアは、新築に合わせて徐々に増やしていく予定。4.バスルームやフアブリックも、ホワイトとダークブラウンでコーディネート。5.外観は内装のイメージに合うように、「あまり可愛らしい洋風はNG」と、こちらもシンプルに。2階部のアクセントになる4つの窓は真菜実さんの提案

ふたりにガッツリ働いて、新婚3年で 150坪の土地に夢の注文住宅を新築!

[丸昇彦坂建設株式会社]

平成19年に結婚した櫻井翔さん(25)と真菜実さん(25)。「どうせ払うなら、毎月消えてしまいうアパートの家賃より、家のローンのほうがいい」と、35歳から40歳といわれるマイホーム取得の平均年齢よりもぐっと若く、20代の今が建てどキと判断した。「10年、20年後に建てるなら、早いほうがいいと。子どもができるまでは2人でしっかり働いてお金を貯めて、35年ローンだけど、定年前には払い終わるので気が楽です」

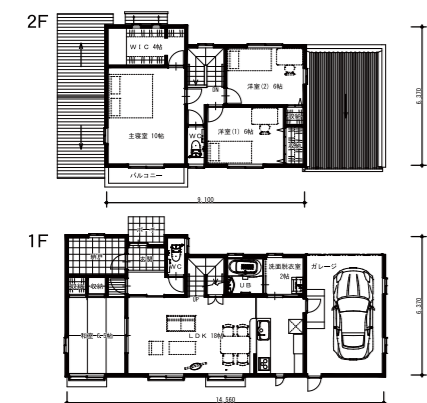
結婚当初から2人とも同じ考えで、アパートでは家具も買わず、新居が完成した今、気に入るものをひとつずつ買い集めている。そんなしつかり者の2人が選んだ土地は、ちょっとワケありの「市街化調整区域」。いわゆる休耕地なら、地主さん次第でかなり安く購入できる。ただ、建築許可が下りるには様々な条件をクリアしなければならぬが、櫻井さんの場合は分家住宅として認められた。「知らなければ普通に宅地を探して、高くて手が出せなかったかも」。そんな幸運も手伝って、2人では広すぎるほどの夢のマイホームを手に入れることができた。



櫻井さん
ファミリーの場合
家族構成/夫婦

いろいろ見学に行った結果、地元の工務店さんをお願いしたのは、間取りや内装など、自分たちの意見を取り入れてもらいやすかったから。ハウスメーカーの場合はプランがベースになるので、どうしても間取りに制限があるけれど、彦坂建設さんは自分たちで手描きした図面をイチから起こしてくれたので、思い通りにできました。

櫻井さん夫婦が建てた「夢のマイホーム」の概要



●DATA

敷地面積/150坪 建ぺい率/60% 延床面積/116.76m²(35.32坪) 1階面積/63.76m²(19.29坪) 2階面積/53.00m²(16.03坪) 住宅建築面積/64.59m²(19.54坪) ユーティリティ(ガレージ)/19.87m²(6.01坪) 工期/3ヶ月 竣工年月/平成21年11月 プラン/フリープラン 工法/2x4工法 基礎/ベタ基礎 断熱材/グラスウール16kg 屋根材/平形屋根スレート、クアドシリーズ、クボタ松下電工 外装材/モモンサイディング 内装材/クロス 床材/フローリング キッチン/トステムシステムキッチン バスルーム/トステムユニットバス

●取材協力

丸昇彦坂建設株式会社 豊橋市大崎町宇豆沢37番地の1
tel.0532-25-4525 <http://www.hikoken.jp/> ※P3もご覧下さい。

住宅マメ知識

●市街化調整区域とは
都市の無秩序な拡大を避けるため、市街化を抑制された区域。山林や農地などが中心で、基本的に住居などの建物は許可なく建てることはできない。農地を宅地に転用するには厳しい条件が課せられるが、櫻井さんの場合はクリアできた。

Have a My Dream Home
sakurai family